



自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

(L) (I) (O) (N) (S)

会長基本方針

(2020.7 ~ 2021.6)

1. 青少年健全育成事業の推進、薬物乱用防止
2. 会員維持と会員増強
3. 四献運動の推進（献血・献腎・献眼・骨髄移植）と糖尿病防止教育
4. 駒ヶ根市、JOCA（JICAを含む）との連携
5. 例会 100%出席を目指す
6. LCIF基金の推進
7. フードライブと子ども食堂への協力
8. 会長スローガン『も・も・もで奉仕』～身近なところ できることから第一歩～

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第156号

■発行日/令和3年7月2日 ■発行者/駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 L.米沢浩一 ■編集責任者/環境・PR委員長 L.小林啓一
■事務局/駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL.0265-83-7806 FAX.0265-83-8386
■印刷/株式会社宮澤印刷

会

vol.156

2021年7月

報

KOMAGANE LIONS CLUB

会長スローガン

【も・も・もで奉仕】

～身近なところ できることから第一歩～



334-E地区 1R2Z



駒ヶ根ライオンズクラブ



Komagane Lions Club

2020~2021

駒ヶ根ライオンズクラブ

KOMAGANE LIONS CLUB
RETIREMENT STATEMENT

役員退任挨拶



会長
L.米沢 浩一

◆ご協力に感謝

今年度の会長スローガンを「も・も・もで奉仕」～身近なところ、できることから第一歩～とし、事業の遂行をお願いしてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、予定していた事業も中止になる事が多くあり、事業や奉仕活動の見直しを余儀なくされました。特に他団体と一緒に進める奉仕活動が出来ないため、駒ヶ根ライオンズクラブ独自で行なう奉仕活動を進めてまいりました。フードドライブは3回行い、食料品や寄付金も多く集まりました。ライオンズの森整備も2回行い、植樹された木々の剪定や、記念碑の清掃を行い、先輩が残してくれた奉仕の歴史を垣間見ることが出来ました。また、長年により築かれてきたクラブの資料の整理を行なうべく、文書管理委員会を立上げ廃棄策定し、事務局内の整理も行いました。会長スローガンに則り、わたしも、あなたも、みんなでもの考えで無事一年を過ごす事が出来ました事、これもひとえに会員皆様方のご指導、ご協力の賜と感謝申し上げます。一年間お世話になりました。

◆退任の挨拶

早いもので何も知らない私が幹事の重任を引受け右往左往しながらも1年が過ぎました。委員長経験も理事会出席もしたこともない自分でしたが役員はじめ会員の皆様に助けて頂き無事退任することができました。特に米沢会長、小澤会計、石田事務局員の三人には大変ご迷惑と苦勞をかけた事をこの場を借りてお詫びとお礼申し上げます。コロナ禍にて事業もままならぬことが多かったわけですが、会員の皆様の理解と御協力で、できる範囲で実施できたと思います。「ライオンズの森の整備」も2回実施することができ、過去の事業を改めて勉強させて頂くこともできました。1年間大変ありがとうございました。



幹事
L.伊東 正人

◆退任のごあいさつ

年度当初「今年度は何も出来ないで終わるのかな」そんな事を思いながら三役会に出席していました。ところが米沢会長のリーダーシップのもと～身近なところ、できることから第一歩～、のとおり伊東幹事、事務局員さんのご指導と会員の皆様のご理解ご協力によりコロナ禍にあっても様々な奉仕活動がされました。無事会計の任を終えることができますことに心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染の収束が見えない一年間でしたが例会では弁当の持ち帰りをお願いしての開催、他団体と共同のアクティビティが見送られるなか恒例のライオンズ旗争奪伊南ブロック少年野球大会開催、フードドライブ、ライオンズの森の冬・春二回の整備の実施、新赤穂公民館見学を兼ねた例会の開催など工夫をして例会・理事会等が開催出来た事は大切な経験となりました。ありがとうございました。



会計
L.小澤 祥男

◆感謝がたくさん1年でした

本年度テーマを仰せつかりましたが、スタートから9月の第1例会まで、私の不注意から欠席となりライオンズの皆様にはご心配とご迷惑をかけてしまい大変申し訳ございませんでした。幹事の小澤ライオンには代わりを務めていただき感謝申し上げます。復帰後は役員・メンバー皆様の御協力のおかげで無事終えることができました。この一年間ただただ感謝申し上げるばかりです。本当にありがとうございました。メンバーの皆様のやさしさに感謝です。



ライオンテーマー
L.白鳥 辰江

◆テールツイスター退任にあたり

本年は新型コロナウイルス感染症が蔓延する中において所々で混乱が発生しドネーションの確保に苦勞する一年でありました。しかしながら三役の皆様、多くのクラブメンバーの方のお支えをいただき無事に一定の成果を得ることができました。このような状況下で大きな成果として、担当して誇らしい気持ちと深い感謝の気持ちでいっぱいでありませす。来期以降もクラブ活動は続いていきますが奉仕の気持ちを強く持ち精一杯クラブを支えていく所存であります。一年間本当にありがとうございました。



テールツイスター
L.氣賀澤洋司



前会長
L.新井 博

◆一年を振り返って

パンデミックのこのコロナ禍の中において、駒ヶ根ライオンズクラブとして何ができるのかを、何をなすべきかをしっかり見つめて、米沢会長を先頭に焦る事なく、確実な実績を積み重ねた一年でありました。

最後の最後に皆さんにご心配をおかけしました。改めて、この病気の怖さを知りました。皆さんご自愛なされて来年以降のご活躍を期待致します。



第一副会長
L.橋田 利雄

◆大変お世話になりました。

本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、三役の皆さんも難しいかじ取りを余儀なくされました。しかし、米沢会長の「身近なところからでも」「できるところからでも」のスローガンのもと臨機応変な対応ができたと思います。

第1副会長として会員委員会と財務委員会を担当させていただきました。会員委員会では、新しいメンバーをお迎えすることができました。財務委員会はマレットゴルフ例会が中止になってしまい残念でしたが、予算・決算については滞りなく執行できたと思います。

メンバーの皆さま、1年間ありがとうございました。



第二副会長
L.松岡 宅吉

◆退任の挨拶

今年度は第2副会長仰せつかり、YCE委員会と環境・PR委員会を担当させて頂きました。昨年からのコロナ禍で始まり、コロナで終わった一年で、会の運営も実行出来た行事とできなかった行事があり、大変な一年ではなかったでしょうか。

YCE委員会のメイン行事である、クリスマス同伴例会も家族が加わる事も出来ず残念でした。環境・PRではライオンズの森の環境整備や、L堀内寿雄会長の時の記念石碑の掃除が出来なかったと思いました。

明るいニュースもありました、新会員も増え女性メンバーも新たに加わり、駒ヶ根ライオンズクラブもより一層繁栄されるのではないのでしょうか、一日でも早くコロナが収束すること、会の運営が通常に戻ることを祈りたいと思います。一年間大変お世話になりました。



第三副会長
L.瀧本 好美

◆退任の挨拶

第三副会長を仰せつかり例会での「ライオンズの誓い」を新たな気持ちで取り組みました。保健奉仕委員会、計画・出席委員会を担当させていただきましたが、このコロナ禍の中では例会時の講演等は実行できたが、行事等はほとんどできなかった。しかし、会長スローガン～身近なところ、できることから第一歩～を各委員会では小さな事でも何かできないかと苦心して計画を練っていただきました。各委員長、メンバーの皆様大変苦しい時期ご苦勞様でした。有り難う御座いました。

地区役員退任挨拶



YCE委員会 第1委員
L.武田 三郎

◆地区YCE委員の2年間を振り返って

‘19年度の1R YCE第2と‘20年度の第1委員を担当してみて当初簡単に考えていた自分が情けなく思えた2年間でした。

‘19年度は夏季派遣生の選考会に始まって、夏季・冬季のプログラム(以下PG)実施し、特に夏季の受け入れは駒ヶ根LCがホストでクロアチアの女子を迎え大変忙しい思いをしましたが、この年の会長L.新井・ZCのL.桃沢を始めとしてそれぞれの役員の方々が滞在期間中本当に親身にサポートしてくれて帰り際に「非常に有意義で楽しかった」(派遣生)と言われ有難く感じました。

‘19年から‘20年の冬季PG迄は普通に行われましたが、それ以降はコロナの影響で中止となり、殆んど地区YCEとしての業務は行われず‘21年から‘22年の冬から再開の予定ですが、早く通常のPGが出来る事を願うばかりです。

2年間大変お世話になりました。

委員長退任挨拶



会員委員会 委員長

「今後も会員増強にご協力をお願いします」
昨年に引き続き感染情報に振り回された1年でした。コロナ禍アクティビティがほとんど出来ない中、せめてLCIFで貢献をとの会員が多く、お陰様で目標5口のところ10口と好実績を納めました。しかし会員増強は目標5名に対して、新入会員3名でした。また退会者が4名(内家族会員2名)あり、残念な結果となりました。今後駒ヶ根LCのPRパンフレットが作成され、今後の会員増強活動グッズとして生かされていくことでしょう。いずれにしても増強活動は計画的かつ継続していくことが必要です。私自身の反省も含め会員増強に今後も力を入れていく所存です、宜しくお願い致します

L.松井 良介



YCE委員会 委員長

YCE委員長を仰せつかり 早いもので1年があつという間に過ぎました。
今年度は昨年度よりコロナ禍が進み、各事業計画も中止、縮小になりそんな中で フードドライブではクラブ員の皆様には沢山の協力を頂きありがとうございました。
又、クリスマス家族同伴例会も縮小の中でシンガーソングライターの蟹澤克ひろ様を迎え静かなながらも楽しいひと時を過ごせました。各事業の中で委員会のメンバー、三役、理事、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

L.大畑 茂男



保健奉仕委員会 委員長

保健奉仕委員会にとって一番の事業である献血奉仕活動が、新型コロナウイルスのためにほとんどできませんでした。例年通り全ての委員会の皆様に参加いただいで進めるべく計画をしたわけですが、結果として一回も立ち会うことが出来ずに一年が終わってしまったことは、すべてのメンバーの皆様にとっても奉仕活動の機会を失ったという意味で私以上に残念なことではなかったかと思われま。一刻も早い収束を願わずにはられません。

L.塩澤 和彦

委員会メンバーの例会への出席率が高く、例会のたびに心強く思っておりました。宮下副委員長はじめ委員会メンバーの皆様には感謝の気持ちでいっぱい。あわせて米沢会長はじめ役員の皆様方のご指導に御礼を申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。



財務委員会 委員長

1年間財務委員長として、あまり理解できず仕舞いでしたが、何とか終わる事が出来ました。
ライオンズの独特な区分けが正直分かり難さを感じたのが感想です。
今年度も昨年に引き続きコロナ禍という事でアクティビティも出来ず、懇親会も出来ず出費は結果的に抑えられましたが、その分クラブメンバーとのコミュニケーションが取れなかったのが残念でした。ともあれ1年間のご協力に心より感謝致します。有難うございました。

L.石田 耕一



環境・PR委員会 委員長

委員会のメイン事業のひとつである「環境クリーン事業」がコロナ禍によって中止となり、代って企画された「ライオンズの森整備事業」は脈々と受け継がれている駒ヶ根ライオンズクラブの奉仕の精神と姿を体感することができました。
また会報発行については、委員会の皆様へ発行に向けての色々なアイデアを頂くと共に、記録写真の撮影にご協力頂きました。米沢会長には自らレイアウト等でもたいへんご尽力いただき助かりました。
事業全般にわたって、三役理事、委員会メンバーの皆様には力強いご協力を頂き感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

L.小林 啓一



計画・出席委員会 委員長

今年も年度初めに事業計画をまとめ発表、会員手帳の作成、配布を行いました。今、1年を振り返ってみますとコロナの影響が大きく事業の執行が厳しい1年でありました。当委員会担当の茸狩り例会は10月9日に 感染防止対策のため、毎年お迎えしている1R2ZZCと松本中央LCの皆様が参加が見合わせとなり、メンバーのみでしたが盛大に開催できました。L.宮澤宏治による講師による6月第一例会は、中止となり大変残念でした。例会の出席も多くのアクティビティ中止によりメークもままならず会員の皆様方の出席も大変厳しい1年でしたが、皆様方には例会の出席をいただき1年間を無事終える事が出来ました。誠にありがとうございました。

L.小林 寿之

駒ヶ根市スポーツ少年団へ活動資金贈呈

(令和3年2月5日)

例年1月に行われていた駒ヶ根スポーツ少年団交流会が、今年はコロナ禍により中止となりました。その中で駒ヶ根ライオンズクラブは、活動資金10万円を贈呈しておりましたが、今年は2月5日の例会に、駒ヶ根市スポーツ少年団副団長の長嶋 清様と駒ヶ根市教育委員会、社会教育課の井口大輔様にお越しいただき贈呈式を行いました。



第8回フードドライブ(食料支援の日)

(令和3年3月5日~3月14日)

第8回目となるフードドライブを3月5日から3月14日まで行いました。
今回は、駒ヶ根市社会福祉協議会が主催する「食料応援の日」に合せて食料品の提供を募り、食料品の他に寄付金も30,000円集まり、併せて社協へ届けました。



「ライオンズの森」春の整備

(令和3年5月15日)

コロナ禍でアクティビティが難しい中、5月15日に昨年度(2019年12月13日)に続き「ライオンズの森整備Ⅱ」を実施しました。
今回は2003年に設置した「青い地球と緑の自然」と題した石碑の整備と、前回できなかった紅葉の朽ちた標柱を新たな記念プレートⅡに入れ替えを行いました。天候にも恵まれ、当時の会長も参加頂くなか充実したアクティビティが実施できました。
当時の市長に題字をお願いした立派な石碑が長年の埃と苔等で真っ黒になっており、周囲も風雨によって土台が露出していたものを、今回メンバーにて周辺を山砂で埋土整地し、石碑表面はタワシ等で額に汗をかき、先人の苦労を感じながら懸命に磨き上げ、当時の姿はこんなにも綺麗な色だったのかと見えるような石碑に蘇りました。
原点に戻ることの大切を改めて感じたコロナ禍のアクティビティでした。



設立40周年記念事業として行われました

新春祝賀例会

担当：執行部

(令和3年 1月6日)

令和3年1月6日(水)新春祝賀例会が行われました。コロナ禍で今年は会場を例年ではグリーンホテルで行っていたものを商工会館4階に変更し祝宴無しで実施しました。米沢会長よりコロナ禍で多々制約がある中残り半年、皆様のご協力をお願いし、出来ることをできる限り実施していくと抱負を述べられました。来賓祝辞は祝宴がない分、十分に時間があつたので、駒ヶ根市の伊藤市長、佐々木県議及び商工会議所の福澤会頭に祝辞を頂きました。それぞれの方々には当クラブへの理解と感謝の言葉、益々の期待を頂き、会員は改めて新年の決意を新たにしました。



2月第一例会

担当：財務委員会

演題『3LCの未来を見据えた
奉仕活動』



講師/伊那ライオンズクラブ L.北原 房雄
以前から、親会である伊那ライオンズクラブとの交流が無いのが残念に思っておりましたので、米沢会長からお願いをして頂き今回の講話の運びとなりました。たまたま弊社の置き薬でお世話になっており、ご縁を感じた次第です。伊那の活動の様子を聞きながら最初の内は駒ヶ根の方が進んでいると思う部分がありましたが、後半は魅力的な活動をされていると感じました。特に高校生の音楽祭を支援したいという活動は駒ヶ根でも一緒に行えれば良いと感じた次第です。ライオンズクラブの魅力は多くのメンバーと知り合える機会がある事だと思っていますのでこれからの交流を期待したいと思います。

3月第一例会

担当：保健奉仕委員会

演題『「企業の健康経営をお手伝い」
こまがね健康ステーションfor Business』



講師/駒ヶ根市 地域保健課
浜 達哉 様 友野 千絵 様
担当いたしました1369回例会(3/5)では『「企業の健康経営をお手伝い」こまがね健康ステーションfor Business』と題して、駒ヶ根市役所地域保健課の浜達哉様(介護予防係長)と友野千絵様(保健師)の講演を行いました。平成27年から始まった駒ヶ根健康ステーション事業を令和3年度からは事業者にも展開していくということで、当日は事業内容等を丁寧にお話しいただきました。健康経営の推進が企業にとって大事なテーマとなっている昨今、メンバーご自身やご家族、そして、それぞれの企業の従業員の皆様の健康づくりを考えるうえで、参考にしていただけたとすれば幸いです。ありがとうございました。

4月第一例会

担当：環境・PR委員会

演題『ニューメンバースピーチ』



L.桐山 文仁 L.小池 正治 L.横田 克彦 L.中島 和彦 L.登内 瑞貴
昨年度コロナ禍で延期となった「希望の5名」のメンバーのスピーチを聴く事が出来ました。L.桐山文仁、「新型コロナウイルス感染拡大がもたらした日本経済への影響」L.小池正治、衣料販売の中で「特殊ストレッチ素材を使った健康ソックス」のお話などL.中島和彦、ライフワークを議員活動に活かされているお話L.登内瑞貴、情報ネットワーク専門の立場としてのお話そしてL.横田克彦には歯科医師の立場として、コロナ禍の中、正しい情報を見極めての行動のお勧めなどでした。それぞれの立派で興味深いお話ばかりで、今後更にライオンズ活動の中お聴きたいものです。

2月第二例会

担当：執行部

演題『企業防災 アフターコロナ』



講師/上伊那消防本部 藤根 正和 様
新型コロナウイルスの影響で、企業の働き方が変化している中、考えておかなければいけない働きに合った企業防災を考え、変化させるべき対策と今まで通り維持する対策について講話してくださいました。

3月第二例会

担当：会員委員会

演題『駒ヶ根市地域見守り
ネットワークについて』



講師/駒ヶ根市 地域包括支援センター
安部 宏美 様 望月 愛理 様
駒ヶ根市役所の社会福祉介護支援専門員の安部宏美さん、保健師の望月愛理さんのお二人に、高齢者、障がい者又は子どもをはじめとする市民に対する虐待、特殊詐欺、犯罪等による被害防止、認知症又は緊急事態の早期発見を助ける地域での見守りネットワークについての講演を頂きました。各企業、団体(駒ヶ根LCを含め)の参加要請がありました。日常生活を通じて異変を察知した場合に、異変に対して関係機関に通報したりして、速やかに大事になる前に対応出来るよう地域との連携が必要である。啓発活動も含めLCとしても協力をしていきたい。

5月第一例会

担当：YCE委員会

演題『市政について』



講師/駒ヶ根市副市長 L.小平 操
副市長小平 操様を迎えて、駒ヶ根市主要事業からの話し等々聞きました。特に少子化の現状、子育て支援、その要因、対応策等伺い、平成10には373人の出生に対し令和2年の出生数は200人の現状である事を知り驚きました。少子化時代の近年社会情勢に合わせ働く女性が増え未婚者が多くなって来た、働き方改革とは言え、出産、子育ての経済的精神的負担を抱えて、子供の健やか成長への影響が大きいと感じました。又、市が目指す高校生、若者達が生涯駒ヶ根で暮らしたいと思える魅力ある駒ヶ根市になりますように願っております。

第67回 地区年次大会 (令和3年 4月 25日)

第67回334-E地区年次大会において、駒ヶ根ライオンズクラブは以下の表彰を受けました。

『LCIF感謝状』
・モデルクラブ表彰 200%モデルクラブ

『年次表彰』
・レオ・青少年育成推進賞
・地域社会アクティビティ賞
・LCIF賞

『ガバナースペシャルアワード』
・LCIF寄付優秀賞：LCIF5回目 L.橋田利雄
・40年皆勤賞：L.堀内寿雄
・50年皆勤賞：L.山下 勉



『ライオンズ40年』

1980年に入会した時、例会は福祉センター3階の畳の部屋でした。メンバーの皆さんは顔見知りで、楽しい例会でした。テールを務めた時に夕食の時テールをしました。夕食と言っても宴席でしたので、ドネーションを気持ちよく出して下さいました。1987年に現在の場所へ移りました。2003年、会長の時が結成40周年の時で大会会長として駒ヶ根市文化会館で、記念式典・記念公演を行い、同施設の小ホールにて行った、祝宴パーティーでは「松茸のセリ」をして盛り上がりました。心に残る記念式典が出来ましたこと、先輩ライオンのご支

L.堀内 寿雄
援とメンバーの皆さんのご協力を頂きましたこと、全てに感謝御礼を申し上げます。2009年、334E地区ガバナー滝沢瑞徳(L.飯田赤石)の時、地区IT委員長と地区複合の委員を務め、キャビネット事務局での会議・委員会・名古屋駅前の複合の事務局での委員会などで毎日が「ライオンズ」でした。2013年「結成50周年記念式典」の大会委員長を務め、「アイパルいなん」で盛会に記念式典が行えました。メンバーの皆さんのご協力に御礼申し上げます。初代会長からメンバーの皆さんと40年間、友愛の心でお付き合いさせて頂きましたこと、心から感謝申し上げます。

チャーターナイト引継ぎ同伴例会

(令和3年 6月18日)

今年のチャーターナイト・家族同伴引継ぎ例会は6月18日(金)にコロナの影響で例年では夜行われるものが今年は昼の例会となり、会場もアイパルから商工会館5階に変更し宴会無しでの実施となりました。米沢会長からはコロナ禍に置ける中で他団体との共同事業はできなかったものの全員協力の下で「ライオンズの森整備」など、できることを実施できたことに感謝が述べられました。各種表彰及び新旧役員のパッジ交換等無事引継ぎも行わ

れ、新しい役員紹介および橋田新会長からは新年度への力強い決意表明を頂き無事終了することができました。残念ながら懇親会は実施出来ませんでした。会員は新年度への思いをより強く決意できる例会ができました。ありがとうございました。

文書管理委員会報告
文書管理委員会で協議し決定した廃棄策定により、今年度事務局内資料を一部廃棄しました。諸先輩方の作られた資料はどれもきちんと整理されておりました。

献血推進アドバイザー
L.橋田 利雄 L.小澤 祥男
本年度当クラブよりL.橋田利雄、L.小澤祥男が講習会を受講し認定されました。認定期間は3年間です。

新入会員
L.北原 エドナ
令和3年5月7日入会
スナック なぎさ 代表